



## 受験勉強は一学期から 一年のガリガリは感心せぬ

達は先生達なりに努力している

しないんやないかな知つて第二次の方が奮が良いだらう

物凄い就職難

### スポーツ特技が大きなプラス

吉竹 謝敷君、井

吉竹 新聞部で調べたでは旭

川崎 簡潔は二人推薦され

川崎 て行つたんだつたな

中橋、石田の三人、嘉穂鉄業に赤

川崎 身が入るのは九月からだ

川崎 でもいろいろと障りが多くてね

川崎 謝敷君は例外だが三年生が

川崎 ほくは例外だが三年生が

川崎 ばかりするのあまり効果があ

川崎 ると思わんね

川崎 同感だ。二年まで本を読

川崎 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 苦労するね。参考書も問

吉竹 開集つては

吉竹 一冊の参考書をみつかり

吉竹 やることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ころ見ると全然解らないがこの

吉竹 たんだろ。文科は理数の中、

吉竹 一科選べばよかつたらしい。こ

吉竹 これが相当きいているね

吉竹 二十七日発表といつてた

吉竹 からもう結果は判つてるんだだろ

吉竹 結局君一人だつたん

吉竹 上地、若高から十四、五人行つ

吉竹 たんだろ。文科は理数の中、

吉竹 一科選べばよかつたらしい。こ

吉竹 たなめ見るど、やるうとくう気

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

吉竹 ばかりするのあまり効果があ

吉竹 ると思わんね

吉竹 同感だ。二年まで本を読

吉竹 んでせいぜい知識を貯えつけた方

吉竹 がんばれ。

吉竹 参考書も問題など問題

吉竹 我々の気持を全然無視して

吉竹 いることだ。

吉竹 謝敷君も四月

# 卒業に際して

昭和二十年四月、太平洋戦争終結四ヶ月前より旧若中、若女に入学してより六年間を小石ヶ丘に過した三年生も愈々三月七日には本校を永久に去つて、夫々憧れの大学実社会へと飛び込んで行くが、その思い出多き本校並びに在校生への訣別の文を、市川、北川、門田、門田の四君に寄せたとき、別に校長と二年生大庭君の送別の文を集録した。

三年になったものもいつ数ヶ月前のような気がしますが、年数を踏んで行くに従つて一年といつ年月が短かくなつて行く気がしてなりません。かくて何もなすことなく

## 高校生の氣質はかくありたい

市 川 嘉 男



嘉 男

卒業して行くのですが、ここで下級生の諸君に向つて何か機でもとばして、大いに励ましたところではそんな事をいふよくなれど、情がどうもわき上つて来ません。しかしいかにせん今

の小学生は現実には思春期に生きながらしか思ひの生むパン

共ではそんな事をいふよくなれど、情がどうもわき上つて来ません。試験前の身につけては何物も變つたが、彼等にはそんな感しゆ

いながらしか思ひの生むパン

ミズムを苦衷出来ないでいる』といつた意味のことを何かの本でみ

ますたが、彼等にはそんな感しゆ

いながらしか思ひの生むパン

はすことは無論立派なことは違いませんが、さりとて、かかる言語の書句難解的な割りきつた断定にたどりいては不可なり。

そんな者はかえつてその者の浅はかさを暴け出しているのです。

『人間は現実には思春期に生きるといふよくなれるが、彼等にはそんな感しゆ

いながらしか思ひの生むパン

はすことは無論立派なことは違いませんが、さりとて、かかる言語の書句難解的な割りきつた断定にたどりいては不可なり。

そんな者はかえつてその者の浅はかさを暴け出しているのです。

その処理仕方いかばはその人の

たつて下さい。最後につけ加えたのは、昨年から始まつた予備会計の上での年ごと、自己嫌悪なんか贅沢す

ります。宣し破棄すべきだ。と

しての手腕のある人が多々ある

です。たゞいつしまさはそれまでの話

ですが、高等學校時代なら未だ街い

たが、高等學校時代なら未だ街い

## 新 陵 樂 文 藝

想 隨

## 男女共學

清

田の画家宇治山哲平氏がいつ  
か私の部屋を訪れての話の最中に  
しきりに書棚の頭を振り返って  
見るので、わけを聞くと『このあ  
そくのデッサンを始めた。頬骨  
の高い、眼の大きな、私は別に  
美しい。絵になると』  
たりは実に美しい。絵になると」と  
の答えた。そういうわけでよく  
氣をつけてながらるとなるほど  
美しい。背も丁度いい。骨董品  
式湯呑茶碗を紅色の角盆に無難作  
に伏せたのが、色の調和もと  
ケゴール選集などのなんだ前に  
青磁や朱の文部省賞を交えた日本  
式湯呑茶碗を紅色の角盆に無難作  
に伏せたのが、色の調和もと  
美しいと眼の  
縁でも  
区切つ  
たら全  
く見事  
な一枚  
の絵にな  
るの  
であつ  
た。

宇治  
山氏は  
また『  
B』と  
いう若

も見事  
な一枚  
の絵にな  
るの  
であつ  
た。

宇治  
山氏は  
『美』  
を創造してい  
くので  
ある。自然美であ  
れ芸術美であ  
つて存在しないと同様である。  
が『美』を感じることによって  
人生や間はどれだけ豊かに深く  
美しくつなっていくかわからない。  
美しいものを美しいと感じられる  
心は先天的なものもあるがやはり  
一種の修練から生れる。

先日、小倉公会堂で開催された  
北九州のドレスメイカーワークのブ  
ッシュ、ショオを見にいた

に見まわれつつがゆうぢけ  
て、ある時は数学の難問を解きま  
る。ある時は共に作業に専念し、  
ある時は又夜のあけるのを忘れて  
リクリエーションに腰みあうほ  
えましくも美しい天真らんまんな  
姿を見て、私は『来年から実施さ  
れるという共学、決して楽しむに  
及ぶまい』と考へた事だった。

K君は私のクラスでわ  
てものほかがグループ。丁度合  
宿中のS高校生、七、八名と仲良  
しになるにいかほどの時も要し  
ない。

共学はしかし、あまりに急に  
学校を裏にする同学年の男女十数  
名が清澄な山の大気の中で紫外線  
ゆたかに、七色に光る坊ガツルの  
草原で、或は又、山小屋のゆらぐ  
灯の下でお互に信をおいた指導者  
の中で育ち、そして急にその力  
のなかから抜けきれないでいる。

早すぎた？

共 学

松の喫茶店で『あの女の人の顔は、私が講師を依頼されている九州文  
化専攻校（旧名トレスメイカーワーク）の生徒室も、ニコルツ  
クのスタイルで舞台に現われたが、いつも教室で見られた顔がまるで  
別人のようにも美しい。顔立つて苦しい。お婆さんには、宇治山氏の熱心に動く手  
つかず、宇治山氏の女性たる、眼の大きさ、私は別に美人とは思われぬタイプの女性た  
つたが、宇治山氏の熱心に動く手  
美しい。背も丁度いい。骨董品

式湯呑茶碗を紅色の角盆に無難作

に伏せてあるのが、色の調和もと

美しいと眼の

縁でも

区切つ

たら全

く見事

な一枚

の絵にな

るの

であつ

た。

宇治  
山氏は  
『美』  
を創造してい  
くので  
ある。自然美であ  
れ芸術美であ  
つて存在しないと同様である。  
が『美』を感じることによって  
人生や間はどれだけ豊かに深く  
美しくつなっていくかわからない。  
美しいものを美しいと感じられる  
心は先天的なものもあるがやはり  
一種の修練から生れる。

先日、小倉公会堂で開催された  
北九州のドレスメイカーワークのブ  
ッシュ、ショオを見にいた

アソシヨン、ショオを見にいた

## 第二回 北九州駅傳終る

## 新記録で堂々優勝

吉竹 田畠  
吉竹 田中  
が区間賞獲得



去る二月十一日、二十五年度最終の駅伝大会が勝山公園一折尾門司勝山公園間の七十キロコースを行なわれ二十校の精銳された若人達が互に競争を争つた。本校は昨年度の優勝校川高を完全に圧しタイム三時間三分三秒の好成績で優勝の栄冠を獲得した。

本大会は吉竹(32分55秒)田中(30分55秒)田畠(37分34秒)の三君が区間賞をうけ特に田畠君は昨年の記録をうち破つて輝い新記録を樹立した、また田中君はこの競技に参加する唯一の最低学年であり今後の陸上部発展のため、なお一層

各選手、出発の合図とともに、齊に勝山橋をスタート、本校一区走者伊藤君、脚の痛みにもかわらず伊藤君、脚の痛みにもかわらず次第である。

午前十時、県下選抜二十一校の間に勝山橋をスタート、本校一区走者伊藤君、脚の痛みにもかわらず伊藤君、脚の痛みにもかわらず次第である。

つぎに本大会の経過をたどつてみる。

一区(勝山橋→上津役)

二区(上津役→折尾→上津役)

三区(折尾→中央区)

四区(中央区→門司)

五区(門司東口→門司)

六区(門司東口→富野)

七区(富野→勝山橋)

八区(勝山橋→草町)

九区(草町→門司)

十区(門司→門司東口)

十一区(門司東口→門司)

十二区(門司→門司東口)

十三区(門司東口→門司)

十四区(門司→門司東口)

十五区(門司東口→門司)

十六区(門司→門司東口)

十七区(門司東口→門司)

十八区(門司→門司東口)

十九区(門司東口→門司)

二十区(門司→門司東口)

二十一区(門司東口→門司)

二十二区(門司→門司東口)

二十三区(門司東口→門司)

二十四区(門司→門司東口)

二十五区(門司東口→門司)

二十六区(門司→門司東口)

二十七区(門司東口→門司)

二十八区(門司→門司東口)

二十九区(門司東口→門司)

三十区(門司→門司東口)

三十区(門司東口→門司)

# 進學調査

進學

## 就職難を反映

本校では十七名が内定

-就職-

世間の不景氣の

波は学窓にも押

し寄せ、本校及

び新制中学校に

就職難で希望数

に達していない

現在の處で内定

したのが本校で

男子五名(個人

商店一名、銀行

二名在籍屋一

名、勞

名、勞